

平成 26 年 10 月 17 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社  
代表取締役 CEO 山本 正卓  
(コード番号：2411)  
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一  
TEL 03-5308-9888(代表)

## 平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当第 2 四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、新たに業績予想の見直しを行った結果、平成 26 年 4 月 18 日付「平成 26 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました平成 27 年 3 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (平成 26 年 4 月 18 日発表)	18,500	1,700	1,700	1,100	69.75
今回修正予想 (B)	17,300	1,450	1,450	900	57.07
増減額 (B - A)	△1,200	△250	△250	△200	
増減率 (%)	△6.5	△14.7	△14.7	△18.2	
(参考) 前年同期 (平成 26 年 3 月期) 実績	16,949	1,631	1,649	1,031	62.12

(注) 1 株当たり予想当期純利益については、当社は当連結会計年度において新たに自己株式を取得したことから、当該取得を反映した予想期中平均株式数を用いて算定しております。なお予想期中平均株式数は、15,768,807 株であります。

### (修正の理由)

当期の売上高は、広告事業において、前回発表予想比で△1,200 百万円減少する見込みであります。

当第 2 四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場においては、建築費高騰や消費税増税等の影響により、パチンコホールの新規オープン案件が減少した結果、大型告知案件需要は、当初計画比で減少いたしました。また、本年 9 月より実施されているパチスロ機の型式試験方法変更の影響により、新機種の市場投入が停滞することが予想され、これがパチンコホールの出店計画にもマイナスに作用すると見込まれることから、当下期の大型告知案件についても、当初予想比で減少することが予想されます。加えて、上述の新機種の市場投入の停滞の影響により、新台入替告知需要についても当初計画比で減少することが予想されます。以上の結果、当期のパチンコホール広告売上高は、前回発表予想比で△800 百万円減少する見込みであります。

また、本年 3 月に連結子会社化した、通販事業特化の広告会社である株式会社ユーアンドユーにおいては、新規のクライアント開拓について、当初計画より時間を要すると見込まれることから、通販広告売上高は、前回発表予想比で△400 百万円減少する見込みであります。

営業利益、経常利益及び当期純利益は、主として広告事業における、パチンコホール広告売上高の減少に伴う、マージンの減少により、それぞれ前回発表予想比で減少する見込みであります。

なお、当社では、配当の基本方針として、連結配当性向 50%を目安としておりますが、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上